

新型コロナウイルス感染症に感染された方へ

症状が長引く (罹患後症状) ことがありますを知っていますか?

新型コロナウイルス感染症にかかった後、ほとんどの方は時間経過とともに症状が改善します。いまだ不明な点が多いですが、一部の方で長引く症状(罹患後症状、いわゆる後遺症)があることがわかつてきました。

罹患後症状の例

疲労感・倦怠感	関節痛	筋肉痛	咳
喀痰	息切れ	胸痛	脱毛
記憶障害	集中力低下	頭痛	抑うつ
嗅覚障害	味覚障害	動悸	下痢
腹痛	睡眠障害	筋力低下	

(参考1) 新型コロナウイルス感染症診療の手引き 別冊 罹患後症状のマネジメント

<https://www.mhlw.go.jp/content/000952747.pdf>



(参考2) WHO(世界保健機関)は、罹患後症状について「新型コロナウイルスに罹患した人にみられ、少なくとも2ヶ月以上持続し、また、他の疾患による症状として説明がつかないもの。通常は発症から3ヶ月経った時点にもみられる。」と定義しています。

症状が改善せず続く場合には…?

(新たに症状が出現した場合も含みます。)

かかりつけ医等や
地域の医療機関に相談しましょう。

※ 自治体によっては、相談窓口を設置している場合や相談できる医療機関のリストをホームページで公開している場合があります。